

ふたみ

明石市立二見小学校

2018(H30)年度

5月号



潤いのある生活にするために

生徒指導担当 田嶋 優一

新しい学年になり1ヶ月がたちました。子どもたちは新しい学級にも慣れ、いきいきとした表情で毎日の生活を送っています。昨年度から、自分の行いや学習に自信を持ち、人のために一肌脱げる子どもたちを育てようとさまざまな活動に取り組んできました。新たな学級になったこの1ヶ月での子どもの表情や動きはどうでしょうか。

学校では、ペア活動や委員会活動の時、高学年の優しい表情や自信に満ちた表情がうかがえます。集団生活をする児童にとって、あいさつ、ろうかでの過ごし方、スリッパの整頓も、みんなが楽しく安全に過ごせるようにしようという温かい気持ちから来る行動だと思います。今年度も、授業や集会、行事などを通して、子どもたちの優しさと自信の心を耕していきたいと考えています。先日お配りした『二見っ子のくらし』も子どもたちの守るべきルールであるとともに、子どもたちが目指す姿として、日常生活の中で指導、支援を行っています。

生徒指導とは、決して堅苦しい面倒なものではなく、互いを思いやることで、潤いのある生活にするためのものだと考えています。その結果、友だちを大切にしたり、もっと自分を伸ばそうとしたりできる子を育てていこうと考えています。自分たち自身が、心豊かに生活していくために決まりを守っていく、そういう温かい学校になれるよう学校をあげて頑張りますのでご協力お願いします。



「できた!」「わかった!」を積み重ねて

~自立に向けて~

特別支援教育コーディネーター

敦見 かおり

中村 まりか

1年生が入学して1か月が経ちました。目をキラキラさせて学校生活を楽しんでいる子、新しいことに慣れなくて不安を抱えながら過ごしている子、様々な子どもたちの様子が見られます。

特別支援教育は、そんな不安を抱えている子どもたちに寄り添い、「なぜかな?」「どこで困っているのかな?」という疑問や気づきを持ち、個に応じた支援をしていくものです。決して特別なものではなく、子どもたちが「わかった!」「自分でできたよ!」という達成感が一つでも持てるよう、様々な方向からアプローチしていくことで、子どもたちが達成感を積み重ね、自立に向けて歩んでいくサポートをしていきます。

今年度も特別支援教育を充実するために職員一同、保護者の方との連携を大切に取り組んでいきます。お子様に関して気になることや、関わり方で悩まれていることがありましたら、いつでも担任やコーディネーター敦見・中村)あるいはスクールカウンセラー(黒岩)にご相談ください。一緒に適切な手立てを考えていきたいと思ひます。



二見っ子 351 名の力を結集させて

~「1年生を迎える会」のパワーを運動会に~

校長 山田 祥千子

すがすがしい五月晴れ、快い風に初夏を思わせる季節となりました。校庭の木々は若葉の色を濃くし、生命の輝きに満ちあふれています。まるで、伸びゆこうとする二見っ子のようです。

4月10日に入学した1年生56名は毎日元気に登校しています。大きなランドセルを背負った登校、いすに座っての授業、給食等々、毎日が新しいことばかりの慣れない生活できっと疲れているだろうと思っていました。しかし1年生の4月の欠席は全体でなんと5日(3人)でした。学校が楽しくて、少しぐらいしんどくてもがんばっているのだろうと、ほっとひと安心し、応援したい気持ちでいっぱいになりました。しかし、その陰には、ご家庭のご支援・ご協力がきっとあるはずだと、心より感謝いたしております。

先日、全校生351名が、初めて顔を合わせる「1年生を迎える会」が行われました。児童会の代表が歓迎の言葉を述べました。その中で、昨年度からこだわって取り組んでいる「姿勢・起立1.2。」で立ち「座りましょう。」で座る動作のお手本を、6年生が示してくれました。1年生は目を丸くして、その様子に見入っていました。児童会代表の堂々とした話しぶりと6年生全員の立派な姿に驚き、尊敬の念を抱きました。1年生も負けてはいません。私は「入学式でお話したチューリップの3つのお願いを二見小のお兄さん・お姉さんに教えてあげましょう。」と呼びかけました。1年生は、大きな元気な声で「あいさつ」「しっかり聞く」「協力」の3つを、自慢げに答えました。その1年生の様子は、会場全体を一気に和やかな温かい雰囲気になりました。そして最後には、6年生の鼓笛を伴奏に、1年生も上級生と一緒に校歌を歌いました。1年生から6年生までが仲良く、一つになってこれから進んでいける予感がしました。

二見っ子351人が力を結集させる最初の大きな舞台、それは5月26日の運動会です。日々の体育の授業の成果を発表します。運動会ではルールを守って全力を尽くして勝負を競う楽しさ、集団で協力して得られる達成感を味わうことを目標にしています。取り組みはもちろん6年生をリーダーに進められます。6年生は『One More』をスローガンに、常にひとつ上を目指して挑戦しています。今の6年生なら、351人を団結させ、燃えさせて、昨年度よりさらにレベルアップした運動会を、必ず作り上げてくれると、信じています。その、一生懸命に取り組む児童の姿をより多くの保護者・地域の皆様にご覧いただけることを願っております。